
岐阜県立山県高等学校

学 校 長 杉山 晴美
学校住所 岐阜県山県市中洞4-1
電 話 0581-52-1551

令和7年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会 議 名 山県高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年9月8日(月) 13:10～16:10
- 3 開催場所 山県高等学校 セミナール室(会議室)
- 4 参加者

会 長	大野 良輔	元加茂農林高等学校長
副 会 長	吉田 安孝	元本校同窓会長
委 員	山田 篤子	山県市主任児童委員
	米山 英津子	岐阜女子大学講師・元岐阜城北高等学校長
	山口 直樹	中洞地区自治会長
	加藤 朱美	P T A会長
学 校 側	杉山 晴美	校長
	川畑 茂	教頭
	中川 弘之	事務長
	中谷 長史	教務部長
	市原 由季	総務部長
	小川 信和	生徒指導部長
	各務 こづえ	進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 就職試験に向けた3年次生特別面接指導

(2) 協議の進行について

- ・学校長挨拶

- ・意見交換

- 面接指導について

- 学校評価の結果について

- 学校の取り組みについて

(3) 3年次生特別面接指導について

意見1：昨年と比べると、生徒たちの受け答えもよく、表情が豊かであり、全体的に非常に良い印象を受けた。これまでに行われた面接指導の成果で、先生方の指導がしっかりと反映されていると感じた。

意見2：質問内容に対して考える時間が長く、一生懸命考える様子が見受けられた。もっとスムーズに答えられるようになるべきだと感じた。今後、先生方との練習を重ねることで、多くの質問に対してスムーズに答えられるようになれば、より多くの情報を相手に伝えることが可能である。

意見3：企業側が厳しい評価をする中で、もっと自信を持ってアピールする姿勢が必要であると考える。言葉に詰まり、緊張しすぎると、自分の能力や魅力を十分に伝えることができず、結果として良い評価を得ることが難しくなる。

意見4：おとなしい生徒が多かったため、全体的に練習してきたことのみを繰り返す様子が見受けられた。また、自信がない生徒が目立ち、自信の欠如から答えの語尾が明瞭でなく、目が泳ぐことがあった。これまでの指導に加え、異なる先生による指導が、さらなる成長につながる。

意見5：ある生徒が敬語を使うことで緊張し、質問にうまく答えられない場面があった。冷静に深呼吸をし、質問のポイントを押さえた後に話すようアドバイスをした。このようなスキルは練習が必要であり、他人とのコミュニケーションでも役立つと伝えた。

(4) 学校評価の結果について

意見1：「A：よくあてはまる」「B：ややあてはまる」の評価が非常に多いことに驚いた。また、先生に相談できる環境が整っていることは、一般的に学校において生徒と教師の間に距離がある中で特筆すべきポイントである。このような高評価を生徒のアンケートから得られることは、先生方の努力の成果であり、生徒たちが安心して学校生活を送れているということだ。

意見2：会社が近くにあるため、生徒たちが毎朝自転車で通学しながら、すれ違う際に必ず挨拶を交わしてくれ、その光景に感心している。挨拶がしっかりと指導されていることが伺える。

意見3：「先生は、生徒のために一生懸命である。」「先生は、悩みや相談ごとに親身になって対応してくれる。」の項目が高い評価を得ている。これは、これまで生徒指導が押さえつけるのではなく、生徒に寄り添い粘り強く行われてきた結果だと感じられる。また、教育相談も活発であり、生徒たちが安心して何でも相談できる環境が整っていることが素晴らしいと感じる。

意見4：進路に関しては、「進路講演会等により、進路や将来について考える機会がある。」が高評価を得ており、企業実習や見学、さらには地元企業との強い繋がりを築いていることが特に目立つ。これにより、普通科の高校生たちが進路を身近に感じ、自ら考える機会が増えているように思われる。

意見5：生徒たちは多様な問題を抱えており、そうした生徒を支援する姿勢が評価されている。また、相談できる環境を提供することで、生徒が成長する機会を与えることができている。最終的には、生徒の特性を活かして社会に出る準備を整え、青春を有意義に過ごすことができるような教育を目指してほしい。

意見6：生徒たちは、先生方が生徒のために懸命に取り組んでいることを評価しており、その成果として全体の80%から90%の達成度が見られることは、他の学校ではあまり見られない。これにより、本校が築いている基盤が強固であると感じており、その基盤からさらなる成長が期待できる。

(5) 学校の取り組みについて

意見1：Instagramを閲覧していると、学校の様子が非常に分かりやすく伝わる。生徒たちの些細な活動や出来事を通じて、学校でどのようなことが行われているのかをよく理解できる。

意見2：私も投稿経験があるが、じっくりと時間をかけて内容を熟成させる必要がある。具体的には、生徒たちで委員会を設立し、学校全体で意見集約しながら投稿を検討するという前例のない試みも提案したい。このような活動は、学校職員の視点に偏ることなく、また、在校生の視点から自校をどう紹介するかを考え、意見交換を行うことで更なる充実を図れればと思う。

意見3：毎日更新されている情報に感心しつつも、保護者や在校生が主にホームページを利用している印象がある。一方、生徒たちはInstagramのようなプラットフォームを通じて、踊ったり歌ったりする動画を楽しんでいるため、このような、学校の様子が伝わるコンテンツも必要ではないかと感じる。

(6) 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、3年次生に対する就職試験に向けた特別面接指導と学校評価の結果について意見交換を行った。また、Instagramの取組や制服検討の取組など、今年度取組みを進めている事業については、地域や中学生にしっかりアピールすることで、本校の様子を地域の方々に知っていただき、学校の活性化に繋げていきたい。